

会議の経過	
開会年月日時刻	令和5年10月25日（水） 午前10時00分
閉会年月日時刻	令和5年10月25日（水） 午前11時08分
会議の場所	館林市郷谷公民館 講堂
会議次第	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会議録署名委員の指名 3. 前回会議録の承認 4. 教育長事務報告 5. 議事 議案第42号 令和6年度教育費予算編成について （非公開） 6. その他 7. 閉会 	

会議の経過

出席委員	<p>第1番 木戸浩之 第2番 栗原昇 第3番 金子千秋 第4番 川島健治 第5番 堀口哲哉</p>
欠席委員	<p>第1番 第2番 第3番 第4番 第5番</p>
提案説明のため出席した者	<p>教育長 川島健治 教育次長 始澤勝也 教育総務課長兼学校給食センター所長 木村和好 生涯学習課長 廣澤篤行 参事兼学校教育課長 井戸健二 文化振興課長 中村豊 スポーツ振興課長 高橋一哲 向井千秋記念子ども科学館長 石崎治 図書館長 森田秀利 総括係長 折原嘉和 書記 横山瑠璃子</p>

会議の経過

<p>教育長</p>	<p>それでは、定刻となりましたので、館林市教育委員会定例会を開会いたします。 (午前10時00分)</p> <p>本日の日程は別紙のとおりです。</p> <p>次に、日程第2 会議録署名委員を指名いたします。</p> <p>今回の署名委員は3番 金子委員、5番 堀口委員を指名いたします。</p> <p>次に、日程第3 前回会議録の承認については、後日読んでいただき承認するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
<p>教育長</p>	<p>異議ないものと認め、そのようにいたします。</p> <p>次に、日程第4 教育長事務報告をいたします。一般事項(1)群馬県都市教育長協議会第3回定例会が昨日、10月24日に富岡市の富岡製糸場で行われました。会議では、報告事項として令和6年度文教施策とその予算措置等に関する要望書の県提出についてと、令和5年度群馬県教職員研修運営協議会についての2つについて、それぞれ報告がありました。また、協議事項として、令和5年度関係各種委員等の委嘱分担案について協議されました。</p> <p>私からの報告は以上でございます。</p> <p>続いて、教育委員会各課の処理事務報告ですが、議案書に記載されている事柄について補足説明等必要なものがありましたら、説明をお願いします。何かございますか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、生涯学習課長。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>3ページをご覧ください。2点ほど修正をお願いしたいと思います。まず、9月11日(月)市民大学講座①といたしまして、ゴルゴ松本さんの講演会の人員ですが、こちらに定員を記載してしまいました。正確には437人となります。続きまして、9月20日(水)、同じく市民大学講座2回目の鈴木明子さんの回ですが、こちらにつきましても定員を記載してしまいました。正確には361人となります。お詫びして訂正いたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほかにありますか。</p>
<p>教育長</p>	<p>(事務局より「なし」の声あり)</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは、今回の事務報告につきまして質疑がありましたらお願いしたいと思います。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、堀口委員。</p>

会議の経過

堀口委員	2ページの後援等に関することについて、第2回保護者のための特別支援教育講演会の内容を教えていただければと思います。
教育総務課長	はい、教育長。
教育長	はい、教育総務課長。
教育総務課長	こちらにつきましては、ご覧の団体から申し出がありまして、発達障がいについての理解を深めていただくということで、中部学院大学の非常勤講師で学校心理士を持っている方の講演会とのことです。
堀口委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	同じページで、12月2日に行われるめぐり・めぐるマルシェ2023の内容と、後援に至ったいきさつを教えていただければと思います。
教育総務課長	はい、教育長。
教育長	はい、教育総務課長。
教育総務課長	こちらにつきましては、ご覧の商工会議所商業サービス部会からの申請でございまして、今年の3月に第1回を開催しております。今回は第2回となりまして、近藤沼公園でWest Farm Marketと館林食の安全を考える会が共同してマルシェを開催するということです。簡単に言いますと、キッチンカーなどが出てくるというような内容でございます。申請書類によりますと、ワークショップなどを手がける出店者も多く、地域事業を通して学校以外での課外授業のようなものができたらということで後援をいただきたいと申請がありましたので、後援について承認する形となりました。
栗原委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
金子委員	はい、教育長。
教育長	はい、金子委員。
金子委員	7ページにある渡瀬公民館の事業についてです。わたらせ交流会（公民館まつり）とありますが、4ページにある11月行事には各公民館の公民館まつりという名称で記載されています。渡瀬公民館のみわたらせ交流会と書いてあるのは、ほかとまた違った意味合いがあるのでしょうか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	まず、4ページに記載されておりますのは渡瀬公民館まつりという形で、

会議の経過

	<p>総称といひましようか、各公民館が公民館まつりを行うにあたって、統一名称として生涯学習課の方で記載しております。一方、渡瀬公民館につきましては、今回公民館まつりという名称から改めてわたらせ交流会（公民館まつり）と名称を変更したような状況です。この名称につきましては、コロナ禍においても公民館でいろいろと工夫しながら展示等を行っている流れの中で、恐らくこういった名称の方が実行委員会としては渡瀬における公民館まつりに適した名称ということで使用したのではと考えております。まだ馴染みがないところもあるかもしれないので、括弧して公民館まつりと記載させていただいた状況です。</p>
金子委員	<p>これから渡瀬に関しては、公民館まつりではなく交流会という名称で続けていくということですね。</p>
生涯学習課長	<p>おっしゃるとおり、わたらせ交流会という名称で公民館まつりを行っていく予定になっています。</p>
金子委員	<p>わかりました。今まで1年間顔を見なかったような方たちも公民館まつりには足を運んでくださるということがよくあるので、これからも地域性を生かした公民館まつりを実行していただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
木戸委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、木戸委員。</p>
木戸委員	<p>7ページと8ページに、多々良公民館が9月2日に行った第八小学校家庭教育学級（お小遣い講座）と、西公民館が同じく9月2日に行った第十小学校家庭教育学級（第4回お金の話）が、多々良公民館にて開催されたと記載されております。これは合同開催という理解でよろしいのかということと、合同開催に至った理由と講座内容についてお答えをお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、生涯学習課長。</p>
生涯学習課長	<p>まず、名称の関係につきまして、それぞれの公民館で家庭教育学級を対象に募集を行いました。できるだけ多くの参加者を呼ぶにあたり、それぞれの名称で募集を行った結果、公民館によって違ってしまったのが現状でございます。会場につきましては、多々良公民館で行われました。フィナンシャルプランナーの方を講師に招き、多々良公民館と西公民館の家庭教育学級合同講座ということで親とその児童を対象に開催いたしました。前半の講義では、日本で使われているお金はどのようなものがあるのか、昔のお金は実際使えるのか等のお金にまつわるお話がございました。後半に</p>

会議の経過

木戸委員	つきましては、ボードゲームを使ってお買い物ゲームのようなことをして、楽しみながらお金について学んだ状況です。以上でございます。
生涯学習課長	多々良公民館での開催にしては第八小学校の参加者が3名ということで、もしかすると人数が集まらず合同となったように見えてしまったのですが、最初から合同という方向で行っていたのでしょうか。
木戸委員	十小の家庭教育学級に属しているのが西公民館と多々良公民館の一部という関係で、一緒に行った状況です。あらかじめ十小区の方が対象なので、合同で行う予定で進んでいたと伺っております。
教育長	わかりました。
栗原委員	そのほか、いかがでしょうか。
教育長	はい、教育長。
栗原委員	はい、栗原委員。
生涯学習課長	公民館まつりに関して、準備段階の模擬店・専門部会等の会議は各公民館で行っていますが、まつり自体は生涯学習課主管なのでしょうか。生涯学習課が主体となって行っているのが公民館まつりという捉え方でよろしいでしょうか。
教育長	はい、教育長。
生涯学習課長	はい、生涯学習課長。
栗原委員	生涯学習課で公民館を所管している関係で、生涯学習課行事の方にまず記載させていただいております。公民館まつりの運営自体に関しましては、それぞれの公民館で公民館まつり実行委員会を立ち上げた上で、その委員会を中心に運営しているような状況です。
生涯学習課長	そうすると、公民館の方にまつりの主体はお任せして、生涯学習課はそれほどタッチしないということなのですね。
栗原委員	地域の特徴もありますので、各実行委員会の方に運営については全てお任せしているような状況でございます。
教育長	ありがとうございます。
金子委員	そのほか、いかがでしょうか。
教育長	はい、教育長。
金子委員	はい、金子委員。
生涯学習課長	6ページの赤羽公民館で9月17日に行われたピアノを弾こう！ですが、参加者人員が常にゼロでも続けている意義は何でしょうか。
教育長	はい、教育長。
生涯学習課長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	ピアノを弾こう！は、赤羽公民館にて毎月1回行っております。ピアノを

会議の経過

	<p>弾いてみたい方や練習してみたい方に、公民館のピアノを開放するという趣旨のものです。こちらのピアノは年1回どうしても調律が必要なことから、予算を確保した上で調律を行っております。実際のところ、利用する機会がないこともあり、公民館の方でもできるだけピアノを有効活用していこうということでこういった企画を立ち上げたような状況でございます。しかしながら、ピアノに普段触れておらず、ピアノを弾いてみたいという方がなかなかいらっしゃらないというのが現状です。公民館まつり等もございますので、改めて周知を行い、今後の利活用がより図れればと考えております。</p>
金子委員	<p>ピアノを開放といっても、公民館の講堂は常に利用があると思います。「何日の何時から何時までが空いています」というように、空き日程等を調整して開放しているのでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>この企画は毎月第3日曜日に行っております。その日に行事等が入った場合については若干日程がずれるかとは思いますが、あらかじめ日を定めた上で募集を公民館だより等に掲載し、地域住民の方に周知しているような状況です。予約が入っていない場合については、当日その場で受付を行い、実際に利用していただくこともできるような形を取っております。</p>
金子委員	<p>お話を聞いていて思ったのですが、講堂を開放するわけですよね。講堂でピアノをいつでも誰でも使えるとなると、大人の方が来るかもしれませんし、子どもさんが来るかもしれませんが、もし子どもさんがいらしたときには保護者など誰かが常に目を配るようにしていただかないといけないと思います。公民館は誰でも出入り自由ですよね。講堂でもとても危ないといえますか、昔、一度危険な経験をしたことが赤羽公民館でありまして、朝誰もいないような時間帯にどうしても行かなければならない用事のために公民館へ行ったら、2階に男性の方がいらっしゃいました。どう見てもその方は公民館に用事があるようには見えず何かを探しに来ていたような感じで、私はとっさに講堂へ逃げたのですが、出入口がいくつかあっても廊下伝いにしかありませんでした。子どもだけで講堂に入るのは非常に危険だと思うので、もし今後そのようなことがあった場合には、小学生くらいまでは必ず保護者付きにいただいた方が良いと思います。講堂は広すぎることもあって危ないかなと感じました。</p>
生涯学習課長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。ケースによっては小さいお子さんが利用されることもありますので、保護者がいる場合は大丈夫かと思うのですが、小学校低学年といった方がもし利用される場合については職員が対応するよう、その旨伝えたいと思います。</p>

会議の経過

金子委員	よろしくお願ひいたします
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	15ページの後援に関することについて、小中学校伝統芸能教室邦楽（日本舞踊）は今回四小が会場ということですが、こちらの事業は各学校を毎年巡回して何かしらやっていくものなのか、今回のみ単発で行うものなのか教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	この事業に関しましては、群馬県の教育文化事業団が主催となっていて行っているものです。県の事業でありまして、調べたところ平成4年度から開始しております。県内各市町村を毎年巡回していて、コロナ禍はできなかった状況もあるようです。平成4年度以降、本市ではなかなか開催する機会がございませんでした。第四小学校では琴の学習もしており、この文化事業団の主な目的は日本舞踊を子どもたちに広めるということになっておりますので、その琴の学習と日本舞踊ということで、今回は会場を第四小学校の方でお願いしたような次第であります。以上です。
堀口委員	では、こちらは申請して回ってくるというような形ですね。ほかの学校も等しく回るわけではなく、申請があった上で行うということでしょうか。
学校教育課長	申請というよりも、県の方がそれぞれの市町村に万遍なく回るということで巡回しているような状況です。
堀口委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	同じく15ページの医療費請求状況について、4月から見ていくと過去6月が特に多かったのですが、10月に関してはそれを上回る額になっております。何か特別な要因などがあれば教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	医療費の状況につきましては、ご指摘のとおり10月分はこれまでより大幅に増えております。小学校の増えた要因については、1件、下校中にお子さんが転倒して骨折したというような状況がありました。このお子さん

会議の経過

	<p>については5日間入院したというところから、全体的な部分での増額となっております。中学校については、主な理由として2件ございます。1件が、体育祭での100メートル走で生徒が左太ももの部分を走っている最中に痛み、それが原因で2日間入院し、なおかつ、手術も行ったというところがございます。もう1件は、部活動中にボールを投げたところ肩の関節を痛みまして、6日間の入院に加え、手術を行ったことから高額な請求となっております。高額になった主な理由というのはこの3件、そのようにこちらとしては捉えております。以上です。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>理解しました。難しいことだとは思いますが、可能な限り怪我のないようにお願いしたいと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、栗原委員。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>同じく15ページの不登校の状況についてです。9月の人数のうち全欠の、1日も登校できなかった児童生徒は何人くらいいるのでしょうか。また、とある自治体の長が「フリースクールは国の根幹を揺るがす」、「不登校は親の責任」といった発言をしたというニュースがありましたが、学校教育課としてはどのような捉え方をしているのか教えていただければと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、学校教育課長</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>2点ご質問をいただきました。まず、9月中の全欠の児童生徒につきまして、小学校では7名、中学校では24名、合計31名おりました。それから2点目の、発言に対して課としてどのように考えるかというご質問につきまして、親の責任等の発言があったようですが、誰の責任ということではなく、様々な社会的事情の中からこのような不登校の児童生徒が増えているというふうに本課としては考えております。その中で、フリースクールにつきましては子どもたちにとっての居場所や学びの場の一つになってほしいと考えております。今はもう不登校の児童生徒に対して学校に登校することだけを目標としているわけではありませんので、今申し上げたようにフリースクールもそういった場になってほしいという、そのような考えであります。不登校につきましては、児童生徒が孤立をしない、人と関わる、そういったところを大事にしながら、最終的には社会的自立を目指すということが一番の大きな目的であると、これは本課だけでなく、教育長も本市教育委員会もそのような考えのもと、現状の取組をしているよ</p>

会議の経過

<p>栗原委員</p>	<p>うな状況でございます。以上となります。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>全欠の子が31人いるということで、その子たちへの関わりは、学校としては様々なところからアプローチしているという状況ですよ。もちろん学校としても関わりを持つようにはしております。学校だけではなく、教育研究所を含め様々な機関、そういった支援の幅を広げるところに力を入れていきたいと思っておりますし、過日の新聞報道でありましたが、不登校児童生徒の4割弱は専門機関とつながっていないというような状況もございますので、本市の方でもその辺りの内容を含めて精査しながら支援の在り方を今後も検討してまいりたいと考えている次第です。以上です。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>ありがとうございます。このまま継続していただければと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>金子委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、金子委員。</p>
<p>金子委員</p>	<p>20ページ、資料館と文学館の特別利用件数の中に撮影という項目が入っていますが、これは来館者が撮影するということでしょうか。</p>
<p>文化振興課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、文化振興課長。</p>
<p>文化振興課長</p>	<p>特別利用とは、資料館・文学館に保存してある資料についてリクエストに応じて特別に閲覧していただくという制度でして、このときは鶴生田川絵巻など、藤巻義夫について調べていらっしゃる方がお見えになって撮影をしたものです。その特別利用の中にも熟覧、模写・模造、撮影・映像という3種類がございます。基本的には料金をいただいております。熟覧は1,100円、模写・模造は2,200円、撮影・映像は3,300円という形でお金をいただいております。ただ、学生や大学の先生が学術研究でお見えになった場合や報道で資料館等をPRしていただくという場合については、減免をさせていただいております。営利目的の場合のみ、料金をいただいているというような状況です。以上です。</p>
<p>金子委員</p>	<p>わかりました。そうしますと、もしかしたら中には撮影したものをSNS等に流すようなことがあるかもしれませんが、撮影した場合の取扱いに関する制限などはあるのでしょうか。</p>
<p>文化振興課長</p>	<p>撮影の際、やはりSNS等インターネット上での発信というのはできるだけご遠慮いただくようお願いをしています。学術研究でお見えになれる方はその辺りを十分踏まえてやっている方がほとんどですので、あまりその部分でこれまで被害にあったということはございませんが、今後そう</p>

会議の経過

	<p>いったことも十分考えられますので、少し慎重に考えていきたいと思いを ます。</p>
金子委員	<p>せっかく良い資料がありますので、多くの方に観ていただくのはいいので すが、写真等でただ人から人へと拡散して伝わるよりも、来館して実物を しっかり観ていただく方法が良いのかなと思います。</p>
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
木戸委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、木戸委員。</p>
木戸委員	<p>17ページの関東地域の「日本遺産」大集結について、人数のカウントは どのようにされているのかを教えてくださいと思います。</p>
文化振興課長	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、文化振興課長。</p>
文化振興課長	<p>先日ご案内させていただきましたが、文化会館1階の市民サロンでこの特 別展示を行っております。入口付近に人感センサー付きのカウンターを設 置しております。出入りを考慮してカウントした数を2で割ってその数 字を算出しております。</p>
木戸委員	<p>先日拝見しまして、担当の方が常駐しているわけではないようでしたので どのようにカウントしているのか不思議でした。そういった設備がある ということですね。ありがとうございました。</p>
文化振興課長	<p>もう1つ補足させていただきますと、ニューミヤコさんの宴会場に入る方 もカウントしております。夕方に市民サロンを閉鎖しますが、その際にカ ウンター数をチェックして夜の宴会等のお客様はカウントしないように しています。ですが、昼間の利用者はどうしても入ってしまいます。今回 は社会実験的にやらせていただいておりますので、第一資料館等でもこう いったものが使えるかも含め、課題として検討したいと思っております。</p>
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
栗原委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、栗原委員。</p>
栗原委員	<p>16ページ、適応指導教室に9月は4人の子が通っているということですが、 学年や性別、活動の様子などを教えてくださいと思います。</p>
学校教育課長	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、学校教育課長。</p>
学校教育課長	<p>ふれあい学級のご質問ですが、この4人についてはいずれも女子 児童生徒です。中学生が2名おまして、2名とも1年生ですが、その うちの1名は同学年の女子生徒と話せるようになり、また、相談員にも自ら</p>

会議の経過

	<p>話しかける姿が見られるようになってきたり、自分で様々なことができるようになってきたという報告を受けております。もう1名につきましては、元々活発な性格で、私も体験活動などに行くとよく話をしてくれる生徒です。これから申し上げる小学生の面倒もよく見ているような状況です。小学生につきましては、1名が5年生です。調理実習が非常に得意なお子さんで、そういった活動を積極的に行っています。もう1名は6年生です。保護者の方から勉強面の不安が最近少なくなってきたと聞いています。また、興味のあるアニメや音楽のことについては相談員と話したり、最近では自分の目標も伝えられるようになってきているというような状況であります。以上です。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>なかなかすぐには適応指導教室につながらないとは思いますが、1人でも2人でも別の機関や居場所が見つければいいと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>おっしゃるように、こちらをもっとふれあい学級の方に足を運んでほしいなと思っております。今年度取り組んでいるのは、ふれあい学級を紹介するリーフレットでそういったものが改善できないかということで、相談員と一緒に検討しているような状況です。以上です。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、堀口委員。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>18ページの11月行事予定に、第5回里沼カヌー・カヤック講座というものがありません。今までは学校のプールや鶴生田川等で開催していましたが、今回は渡良瀬遊水地ということで広い場所での開催となります。募集人員等も今までより多いのでしょうか。教えていただければと思います。</p>
<p>文化振興課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、文化振興課長。</p>
<p>文化振興課長</p>	<p>11月に行われる渡良瀬遊水地での5回目の講座は、スタッフ養成講座の方で6名、それから一般参加で8名、合計14名の方を募集定員として考えております。この数字については、基本的には鶴生田川で開催する場合とほぼ同じになっています。と言いますのも、鶴生田川の場合は午前・午後で行っているのですが、遊水地の場合、この時期は午後になると風が吹いて、危険性を考えると午前中でないといけないという開催が難しいということもあり、午前中にスタッフ養成講座と一般を同時に行う予定でございます。午後ができればこの倍の数で行えたと思いますが、現状では鶴生田川の会場と同様の数になっております。以上です。</p>

会議の経過

堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	21ページの11月行事予定にある、志木市とのスポーツ少年団親善スポーツ大会が中止となってしまった理由を教えてください。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。
スポーツ振興課長	この事業につきましては、本市と埼玉県志木市による防災協定が縁となって平成9年度から両市のスポーツ少年団による交流を行ってきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から昨年度まで中止となっております。今年度につきましては、5月に新型コロナウイルスがインフルエンザ同様に5類へ移行したことに伴い、志木市で開催予定のサッカー大会の実施について確認したところ、受入体制が整わない旨の回答があったため、やむを得ず中止したものでございます。志木市側の背景には、少子化に加え、コロナ禍等における団員の減少が中止とした要因と思われる。今後につきましては、志木市スポーツ少年団が4種目・10団体、館林市スポーツ少年団が10種目・26団体という競技種目や団員数の違いを踏まえまして、交流種目や開催方法など、交流の在り方について志木市と改めて協議していきたいと考えております。以上です。
木戸委員	せっかく始めた経緯があるので、続けていただければありがたいと思いますが、やむを得ない事情があるということで理解しました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	27ページの科学館に関することで、9月17日の公開天文台に81名参加者がいたようですが、子どもたちと一般の割合を教えてくださいということと、事業内容について教えてくださいと思います。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、教育長。
教育長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
向井千秋記念子ども科学館長	公開天文台の内容及び参加者についてお答えいたします。まず、公開天文台とは原則第3日曜日、来館者を対象に専用の望遠鏡やクーデ式望遠鏡を使い、太陽の黒点や昼間見える天体などを観察するものです。この日は参加した方のほとんどが親子連れでした。雲が多いコンディションの中、黒点や金星が見えると「星が見えた」など歓声が上がっておりました。また、

会議の経過

<p>栗原委員 向井千秋記念子ども科学館長</p>	<p>見えない時には黒点に関する3択のクイズなどを交えた解説を興味深く聞いておりました。以上でございます。</p> <p>人気の事業のようですが、これは毎月行っているものでしょうか。それとも、毎月行うのは職員体制等を考えると厳しいのでしょうか。</p> <p>公開天文台については毎月実施しております、今年度はこれまで6回実施しております。おっしゃるとおり人気の事業でして、平均で約70人が参加しているものでございます。回数を増やすことにつきましては、他の事業や職員体制の調整が必要となります。現在、公開天文台の実施時間は13時50分から14時20分で、比較的来館者が多い時間帯かつプラネタリウム番組の合間で実施しております。この時間帯はほかにもサイエンスショーやプログラミング講座、えほんdeかがくなども実施しており、その調整が必要となります。次に、人員については職員3人体制で、時折学生ボランティアが加わるなど、そのような体制で対応しております。担当職員はプラネタリウムの投影をはじめ他の業務もあることから、こちらも調整が必要となります。以上のことから、回数を増やすことは厳しい状況にありますが、人気のイベントでもありますので不定期で新たな企画ができるか検討していきたいと思っております。なお、今年度は外壁屋上防水工事のため、11月からは館内での観察はできません。今後は館林城ゆめひろばや秋元別邸等で天体観測等の実施を予定しております。以上でございます。</p>
<p>栗原委員</p>	<p>ありがとうございます。苦勞して実施されていることがよくわかりました。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、木戸委員。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>プラネタリウムの施設利用に関することで、プラネタリウム観覧付入館券利用者が676人とあります。本年4月1日から利用を開始していると思いますが、半年経ってその後変化があったかどうかを教えてください。</p>
<p>向井千秋記念子ども科学館長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、向井千秋記念子ども科学館長。</p>
<p>向井千秋記念子ども科学館長</p>	<p>まず、入館者数及びプラネタリウム観覧者数の現状について、30ページに掲載している4月からの累計前年度対比をご覧ください。入館者数については119.4%、観覧者数については118.0%と昨年度に比べて利用者が増えております。プラネタリウム観覧付入館券の利用につきまし</p>

会議の経過

	<p>て、9月は676人でございます。4月からの利用者数累計については、5,208人でございます。同入館券は大人の入館者が対象になりますので、大人の有料入館者数を見ていただくと、個人が1万1,079人、団体が296人、合計1万1,375人で、同入館券の利用率は45.8%となり、およそ半数の方が利用したことになります。続きまして、4月が38.6%と毎月増加傾向にありまして、8月には56.0%となりました。残念ながら9月は41.9%と下がってしまいましたが、利用が高まっていることを感じております。次に、4月からの有料入館者数の累計については、個人が7,397人、団体が420人、合計7,817人で、同入館券の利用率は66.6%と約7割の方が利用している状況でございます。最後に、受付の状況についてです。最近ではリピーターなのか、科学館ホームページを見て来館したのか、案内をする前に観覧付入館券を購入している利用者もおります。以上のように、同入館券が周知されつつあり、少なからず利用者増に影響を与えていると考えております。以上でございます。</p>
木戸委員	<p>コロナの5類移行後とも無関係ではないにしても、ある一定の効果があったということは良かったと思います。ありがとうございました。</p>
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
栗原委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、栗原委員。</p>
栗原委員	<p>12ページの青少年補導について、自転車はヘルメット着用が努力義務となりました。補導でそのような場面を見かけて声かけする際、どのような共通理解を図っているのか教えていただければと思います。</p>
生涯学習課長	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、生涯学習課長。</p>
生涯学習課長	<p>まず、着用していないお子さんに対しては、「こんにちは」や「気をつけて帰ってね」といったお声がけをさせていただいております。そのほか、ヘルメットを被っていてもあご紐を着けていないケースもございますので、その場合には「紐を着けてね」という形でお話しさせていただいております。さらに、自転車のかごにヘルメットを入れっぱなしにして乗っている場合については、「安全のためヘルメットをかぶってください」というお話をさせていただいております。補導員会といたしましては、こういった補導活動を通じて大人が子どもたちに関心を持っているということを知っていただくことが非常に大切だと感じております。</p>
栗原委員	<p>現段階では強い指導はせず、声かけ程度で行っているということですか。</p>

会議の経過

生涯学習課長	おっしゃるとおり、声かけをして、できるだけコミュニケーションを取るような形で行っている状況でございます。
栗原委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。 (委員から「なし」の声あり)
教育長	ないようですので、事務報告は記載のとおり承認するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、記載のとおり承認するものといたします。 次に、日程第5 議事に入ります。 議案第42号につきましては、館林市教育委員会会議規則第17条第1項により非公開としたいと思いますが、非公開としてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、ただ今から教育委員会を非公開とします。該当者については、一時退室を願います。 【傍聴人 退室】 (非公開) 【傍聴人 入室】
教育長	次に、日程第6 その他で何かございますか。 (委員等から「なし」の声あり)
教育長	ないようですので、以上で本日の全日程を終了します。 これにて教育委員会を閉会します。 (午前11時08分)